鈴木みどり 議員

政風会

児童館のイベントに市外の子どもも参加できないか

問

(1) 市内の児童館でイベントがある場合、例えば、10月に行われる児童館まつりは、約100名の定員数で開催されるが、定員を設けている場合、市外の子どもの利用できないということだが、児童館まつりでは、なぜ市外の子どもが利用できないのか。

答

市内の子どもを優先するためイベント時は制限している

(1) 以前は利用を認めていたときもあったが、市内の子どもが利用できないこともあったため、現在は定員を設けているイベントのみ制限をしている。児童館まつりは、年間を通して利用している市内の子どもたちが楽しみにしている行事であり、市外の子どもの利用を認めることによって、市内の子どもたちが利用できなくなる恐れもあるので、

制限をしている。
(2) 定員がいっぱいの場合、連携を取り、イベント当日に定員に余裕のある児童館を紹介している。

近鉄佐古木駅をより利用しやすい駅に

問

(1) 近鉄佐古木駅が、時間帯によって無人化になると聞いた。その時間帯は現段階で分かっているのか。

(2) 近鉄名古屋線の名古屋駅から弥富駅まで11駅ある中で、車椅子での移動ができないのは佐古木駅だけである。車椅子で利用する場合は、数名の駅員、介助者が必要となる。駅員がいなくなれば、さらに不便になる。

このような状況の中で、市は佐古木駅のバリアフリーについてどう考えているのか。
(3) 佐古木駅も本市の中にある駅の一つだということをお忘れないうちに、弥富駅周辺の開発について、

では、以前の一般質問で市長から一時凍結するという答弁があったが、今後の佐古木駅の南口の整備についての考えや、この整備をやる気があるのか、現在の進捗状況も含めて尋ねる。

駅利用者の要望を近鉄に伝えていきたい

答 開発部長

(1) 近鉄によると、現在、駅係員の日勤配置時間を検討しており、お示しできるのは10月末から11月上旬になると聞いている。

(2) 近鉄によると、駅員の日勤配置化に伴う無配置時間帯の対応は、インターホンつきで遠隔監視システムを導入し、係員がカメラの映像を確認しながら、自動改札機、自動発券機、自動精算機を遠隔操作により対応する。

また、車椅子での介助が必要な場合は、利用者が管理駅となる蟹江駅に事前に連絡をするかインターホンで連絡をし、係員を蟹江駅

から派遣することで対応する。時間がかかると思われるので、駅員の配置変更と無配置時間の対応を佐古木駅利用者に分かりやすいPRをしていただき、スムーズな移行をお願いしている。

駅のバリアフリー化については、佐古木駅の地下駅舎の使い勝手の不便さは、以前から聞いており、市としては近鉄に対して利便性の改善を引き続き要望していきたい。

(3) 関係者の中に市外の方も多く見え、事業への理解がまだ得られていないのが現状である。

しかし、今後も引き続き事業実施に向けて関係者へ交渉をしていく。

答 市長

市と佐古木駅を利用する方の代表の声を伝えていきたいと思っている。しっかりと地域の要望、そして市の要望を伝えていきたい。余りにも早急過ぎると思っているの、声として届けたい。